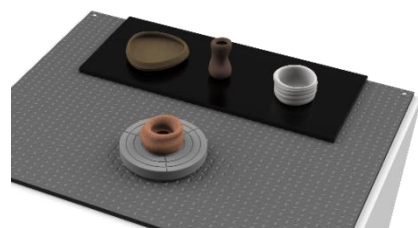
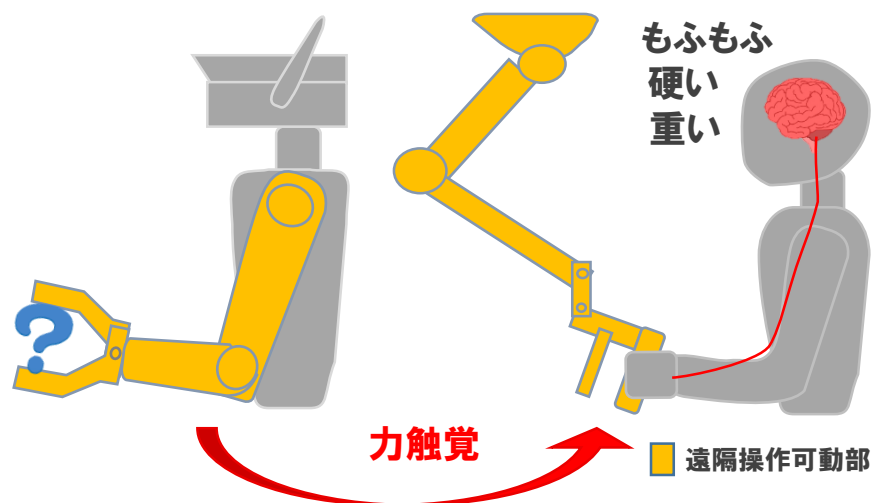
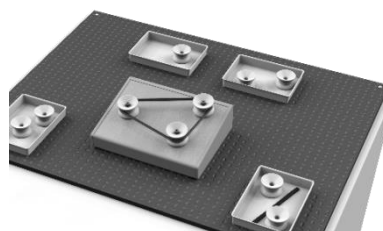


力触覚伝送技術



遠隔陶芸制作



遠隔組立作業

提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

構想/研究段階

- ロボットが感じた“重い”、“硬い”や“やわらかい”と言った力触覚を5Gに乗せて遠隔地にいるオペレータに伝送します。
- 力触覚がオペレータにフィードバックされることにより、精密な作業や繊細な作業が行えるようになり、様々なモノづくりを遠隔ロボットを通して行うことができるようになります。

概要

- ヒューマノイドロボットを使った遠隔操作ロボット
- オペレータはコントローラーを使ってロボットを自在に操作可能
- コントローラーのハンドルを通じて、ロボットが感じた力触覚をフィードバックすることで、繊細な作業を行うことが可能
- 超低遅延の3Dリアルタイム映像伝送システムにより、オペレータはその場にいる感覚で操作可能
- 力触覚を用いることで、現地の人でしか実現できなかったモノづくり(工場の組み立て作業や陶芸制作など)を遠隔地からでも実現

コラボレーションパートナー

日鉄ソリューションズ株式会社とは、5Gを利用した遠隔操作ロボットの未来について検討しています。

